

学科(類型)				文系Ⅰ						文系Ⅱ						理系					
教科・科目等				予定 0 学級						予定 1 学級						予定 0 学級					
	教科	科目	標準 単位数	1	2	3	最大 単位数	計	1	2	3	最大 単位数	計	1	2	3	最大 単位数	計			
教科 の 指 導	国語	現代の国語	2	2			2	4～ (20)	2				2	4	2				2	4～ (20)	
		言語文化	2			2	2			1	1	2				2		2			
		論理国語	4			(2)	(2)		(4)							(2)	(2)	(4)			
		文学国語	4			(2)	(2)		(4)							(2)	(2)	(4)			
		国語表現	4			(2)	(2)		(4)							(2)	(2)	(4)			
		古典探究	4			(2)	(2)		(4)							(2)	(2)	(4)			
	地理歴史	地理総合	2				2	2	4～ (10)				2	2	4				2	2	4～ (10)
		地理探究	3																		
		歴史総合	2			2		2			2		2			2		2			
		日本史探究	3				(3)	(3)									(3)	(3)			
		世界史探究	3				(3)	(3)									(3)	(3)			
	公民	公共	2	2				2	2～ (6)	2				2	2	2				2	2～ (6)
		倫理	2			(2)	(2)	(2)									(2)	(2)	(2)		
		政治・経済	2			(2)	(2)	(2)									(2)	(2)	(2)		
	数学	数学Ⅰ	3	3				3	3～ (13)	1	1			3	3	3				3	7～ (16)
		数学Ⅱ	4			(2～4)	(2)	(4)									4			4	
		数学Ⅲ	3																(3)	(3)	
		数学A	2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)								(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
		数学B	2			(2)	(2)	(2)									(2)	(2)	(2)	(2)	
		数学C	2			(2)	(2)	(2)									(2)	(2)	(2)	(2)	
		理科	科学と人間生活	2	2					2	4～ (8)	2					2	4	2		
	生物基礎		2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		2					(2)	(2)	(2)		(2)	(2)	
	化学基礎		2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)							(2)	(2)	(2)		(2)	(2)	
	物理基礎		2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)							(2)	(2)	(2)		(2)	(2)	
	地学基礎		2																		
	生物		4													(4)	(4)		(4)	(4)	
	化学		4													(4)	(4)		(4)	(4)	
	物理		4													(4)	(4)		(4)	(4)	
	地学		4																		
	保健体育	保健	2			1	1	2	9		1	1		2	9		1	1		2	9
		体育	7	2		3	2	7		2	2	3		7		2	3	2		7	
	芸術	音楽Ⅰ	2	2				2	4～ (12)	2				2	4	2				2	4～ (12)
		音楽Ⅱ	2			(2)	(2)	(2)									(2)	(2)	(2)		
		音楽Ⅲ	2				(2)	(2)									(2)	(2)	(2)		
		美術Ⅰ	2	2				2		2				2		2			2		
		美術Ⅱ	2			(2)	(2)	(2)								(2)	(2)	(2)	(2)		
		美術Ⅲ	2				(2)	(2)									(2)	(2)	(2)		
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3				3	7 ～ (15)	1	1		1	3	3	3				3	7 ～ (15)
		英語コミュニケーションⅡ	4			(2～4)	(2)	4									(2～4)	(2)	4		
		英語コミュニケーションⅢ	4				(4)	(4)										(4)	(4)		
		論理表現Ⅰ	2			(2)	(2)	(2)								(2)	(2)	(2)	(2)		
		論理表現Ⅱ	2				(2)	(2)									(2)	(2)	(2)		
		論理表現Ⅲ	2																		
	家庭情報	家庭基礎	2			2		2	2～ (6)		2			2	2		2			2	2～ (6)
		家庭総合	4			(2)	(2)	(4)									(2)	(2)	(4)		
	情報	情報Ⅰ	2	2				2	2～ (4)	2				2	2	2				2	2～ (4)
		情報Ⅱ	2			(2)	(2)	(2)									(2)	(2)	(2)		
	科目単位数計				22～ 26	22～ 26	21～ 26	65～ 78	65～ 78	16	12	9	37	37	22～ 26	22～ 26	21～ 26	65～ 78	65～ 78		
ホームルーム活動				1	1	1	1	3	3	1	1	1	3	3	1	1	1	3	3		
目立活動					2～4	2～4	2～4	6～12	6～12	8～12	11～15	15～19	35～47	35～47	2～4	2～4	2～4	6～12	6～12		
総合的な探究の時間				3	1	1	1	3	3	1	1	1	3	3	1	1	1	3	3		
週当たり授業時数					26 ～ 30	26 ～ 30	25 ～ 30	77 ～ 90	77 ～ 90	26 ～ 30	25 ～ 29	26 ～ 30	78 ～ 90	78 ～ 90	26 ～ 30	26 ～ 30	25 ～ 30	77 ～ 90	77 ～ 90		
				始業時刻 8時45分										終業時刻 14時50分							
教育課程編成上の留意点				・1単位時間を50分とし、35単位時間の授業を1単位として計算する。 ・1年時は、文・理の区別はない。 ・（ ）のついている単位数は、選択科目を示す。 ・地理歴史、公民は「地理総合」（2単位）「歴史総合」（2単位）「公共」（2単位）の3科目を必ず履修する。「公共」は2年生までに履修する。選択科目はそれぞれの必修科目履修後に選択できる。 ・数学B・数学C・数学Ⅱは、数学Ⅰを履修した後に履修する。「数学B」「数学C」の間に履修の順序はない。 ・文系Ⅰの理科は「科学と人間生活」（2単位）と、「生物基礎」（2単位）「化学基礎」（2単位）「物理基礎」（2単位）のいずれか1科目を必ず履修する。 ・理系の理科は「科学と人間生活」（2単位）と、「生物基礎」（2単位）「化学基礎」（2単位）「物理基礎」（2単位）のいずれか2科目を必ず履修する。 ・生物、化学、物理の各科目は、それぞれに対応する基礎を付した科目を履修した後に選択できる。 ・音楽Ⅲ、美術Ⅲは、それぞれ音楽Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱを履修した後に選択できる。 ・情報の「情報Ⅱ」は「情報Ⅰ」を履修した後に選択できる。 ・文系Ⅱ類型は自立活動に重点を置く。 ・教育活動全般において言語活動の充実を図る。 ・病弱重複障害課程、知的障害課程との交流及び共同学習に取り組み、集団における学習によりコミュニケーション力など人間関係形成能力を育む。このために時間割の工夫を行う。 ・障害が重度で、通学しての学習が困難な場合は、訪問による教育等を行う。 ・習得した単位については高等学校卒業程度認定試験において免除申請を行うことができる。																	

(様式Ⅱ—④)

令和7年度 県立特別支援学校(病弱) 教育課程表

兵庫県立上野ヶ原特別支援学校

高等部 本科 普通科 (重複障害学級用)

学科(類型) 教科・科目等		重複障害学級 ①				重複障害学級 ②			
		予定 1学級				予定 0学級			
		1	2	3	単位数計	1	2	3	単位数計
教科 別 の 指 導	国 語	2 (1)	2 (1)	2 (1)	6 (3)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (6)
	社 会	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (6)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (3)
	数 学	2 (1)	2 (1)	2 (1)	6 (3)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (3)
	理 科	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (6)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (3)
	音 楽	2	2	2	6	2	2	2	6
	美 術	2	2	2	6	1	1	1	3
	保健体育	1	1	1	3	0	0	0	0
	職 業	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (3)	0	0	0	0
	家 庭	2	2	2	6	1	1	1	3
	(外国語)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(情 報)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (3)	0	0	0	0
道 徳 科		0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (3)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (3)
ホームルームの週当たり時数		2	2	2	6	1	1	1	3
自立活動		5 (2)	5 (2)	5 (2)	15 (6)	11 (7)	11 (7)	11 (7)	33 (21)
合 わ せ た 指 導	日常生活の指導	4	4	4	12	10	10	10	30
	生活単元学習	3	3	3	9	3	3	3	9
	作業学習	4	4	4	12				
総合的な探究の時間		1	1	1	3	1	1	1	3
週当たり授業時数		30	30	30	90	30	30	30	90
		始業時刻 8時45分				終業時刻 14時50分			
教育課程編成上の留意点		・①は教科指導、各教科等を合わせた指導を中心とし、②は自立活動を主とした指導で各教科等を合わせた指導も含める。 ・1単位時間を50分とし、35単位時間の授業を1単位として計算する。 ・生徒の多様な実態に対応するため、指導の工夫を行い、指導の効果を高めるように配慮する。 ・病状と能力に応じた個別学習を設定する。 ・集団学習を取り入れて社会性の育成を目指す。 ・生涯学習を配慮した個性の開発と伸長を目指す。 ・教育活動全般において言語活動の充実を図る。 ・病弱単一障害課程、知的障害課程との交流及び共同学習に取り組み、集団における学習によりコミュニケーション力など人間関係形成能力を育む。このために時間割の工夫を行う。							

(様式Ⅱ—⑤—1)

令和7年度 県立特別支援学校（知的障害）教育課程表

兵庫県立上野ヶ原特別支援学校

高等部 本科 普通科 （単一障害学級用）

学年 区分			1	2	3
教科 別 の 指 導	各 教 科	国 語	70 (35)	70 (35)	70 (35)
		社 会	0 (70)	0 (70)	0 (70)
		数 学	70 (35)	70 (35)	70 (35)
		理 科	0 (70)	0 (70)	0 (70)
		音 楽	70	70	70
		美 術	70	70	70
		保健体育	70	70	70
		職 業	0 (35)	0 (35)	0 (35)
		家 庭	70	70	70
		(外国語)	0	0	0
		(情報)	35 (35)	35 (35)	35 (35)
		道 徳 科		0 (35)	0 (35)
特別活動	ホームルーム	70	70	70	
自立活動		105 (70)	105 (70)	105 (70)	
合 わ せ た 指 導	日常生活の指導		140	140	140
	生活単元学習		105	105	105
	作業学習		140	140	140
総合的な探究の時間		35	35	35	
年間総授業時数計		1050	1050	1050	
週当たり授業時数		30	30	30	
		始業時刻 8時45分 終業時刻 14時50分			
教育課程編成上の留意点		・この表の授業時数の1単位時間は50分とする。 ・生徒の多様な実態に対応するため、指導の工夫を行い、指導の効果を高めるように配慮する。 ・教科ごとに生徒の実態に合わせた柔軟な学習グループの編成を前提とする。 ・主体的に社会生活・職業生活実現に取り組むために必要な意欲・知識・技能の向上を目指す。 ・教育活動全般において言語活動の充実を図り、社会生活に活かせるコミュニケーション能力の獲得を目指す。 ・認定資格習得をめざし、作業学習等においてビルクリーニング、喫茶サービス、物流・品出し、パソコンの授業を行う。			

(様式Ⅱ―⑥)

令和7年度 県立特別支援学校（知的障害）教育課程表

兵庫県立上野ヶ原特別支援学校

高等部 本科 普通科 （重複障害学級用）

学年 区分			1	2	3
教科 別 の 指 導	各 教 科	国 語	70 (35)	70 (35)	70 (35)
		社 会	0 (70)	0 (70)	0 (70)
		数 学	35 (70)	35 (70)	35 (70)
		理 科	0 (70)	0 (70)	0 (70)
		音 楽	70	70	70
		美 術	70	70	70
		保健体育	70	70	70
		職 業	0 (35)	0 (35)	0 (35)
		家 庭	70	70	70
		(外国語)	0	0	0
		(情報)	0 (35)	0 (35)	0 (35)
道 徳 科		0 (35)	0 (35)	0 (35)	
特別活動	ホームルーム	70	70	70	
自立活動		175 (35)	175 (35)	175 (35)	
合 わ せ た 指 導	日常生活の指導	140	140	140	
	生活単元学習	105	105	105	
	作業学習	140	140	140	
総合的な探究の時間		35	35	35	
年間総授業時数計		1050	1050	1050	
週当たり授業時数		30	30	30	
		始業時刻 8時45分 終業時刻 14時50分			
教育課程編成上の留意点		・この表の授業時数の1単位時間は50分とする。 ・生徒の多様な実態に対応するため、指導の工夫を行い、指導の効果を高めるように配慮する。 ・教科ごとに生徒の実態に合わせた柔軟な学習グループの編成を前提とする。 ・主体的に社会生活・職業生活実現に取り組むために必要な意欲・知識・技能の向上を目指す。 ・教育活動全般において言語活動の充実を図り、社会生活に活かせるコミュニケーション能力の獲得を目指す。 ・認定資格習得をめざし、作業学習等においてビルクリーニング、喫茶サービス、物流・品出し、パソコンの授業を行う。			

令和7年度 県立特別支援学校教育課程表

兵庫県立上野ヶ原特別支援学校

高等部 本科 普通科 (病弱訪問教育用)

学年 区分			訪 問 教 育 1		訪 問 教 育 2	
			重複障害学級		重複障害学級	
			各学年		各学年	
			①	②	①	②
教科 別の 指導	各 教 科	国 語	0 (20)	0 (35)	10 (15)	10 (15)
		社 会	0 (15)	0	0	0
		数 学	0 (20)	0	5 (10)	0
		理 科	0 (15)	0	0	0
		音 楽	0 (20)	0 (35)	10 (15)	10 (15)
		美 術	0 (20)	0 (35)	10 (5)	0
		保健体育	0 (15)	0	0	0
		職 業	0 (15)	0	0	0
		家 庭	0 (20)	0	0	0
		(外国語)	0 (15)	0	0	0
道 徳 科		0 (5)	0 (5)	0 (15)	0 (10)	
特別活動	ホームルーム	0 (10)	0 (10)	15	15	
自 立 活 動		20	90	50 (50)	65 (70)	
合 わ せ た 指 導	日常生活の指導	70	70	50	50	
	生活単元学習	120	50	60	60	
	作業学習					
年間総授業時数計		210	210	210	210	
週当たり授業時数		6	6	6	6	
教育課程編成上の留意点		・①は各教科等を合わせた指導を中心とし、 ②は自立活動を主とした指導で、各教科等を合わせた指導も含める。 ・この表の授業時数の1単位時間は60分とする。 ・医療機関及び家庭との連携を密にする。 ・学習指導は内容に応じて個別や集団で行う。 ・個々の生徒の進路目標により学習内容を精選する。 ・必要に応じて地域の学校や社会との交流を深める。 ・体調に合わせて、本校における学習活動も設定する。 ・教育活動全般において言語活動の充実を図る。		・特別支援学校高等部学習指導要領に基づき、重度・重複障害児の実態に合わせて自立活動を主とした教育課程を編成した。 ・この表の授業時数の1単位時間は60分とする。 ただし、生徒の発達段階に対応した指導のため、各教科等を合わせた指導の配当が異なる①と②の教育課程を編成した。 ・医療施設及び家庭との連携を密にする。 ・学習指導は内容に応じて個別や集団で行う。 ・周囲の人や物に関心を持ち、それらに積極的に関わろうとする力の育成を図る。 ・社会生活に関する体験的な活動を取り入れて、興味・関心の拡充を目指す。 ・教育活動全般において言語活動の充実を図る。		
備考		・兵庫中央病院訪問学級、在宅訪問学級に適用する。		・さくら訪問学級に適用する。		